

# 「指宿枕崎線（指宿・枕崎間）の将来のあり方に関する検討会議」における実証事業の概要

## 1 貨客混載実証事業

### 【施策の概要】

- ・ 指宿枕崎線の定期列車を活用し、地元商品の輸送・販売を行うための貨客混載実証事業を実施する
- ・ 山川駅、指宿駅から喜入駅のコミュニティスペース「ゆなべーす喜入」へ商品輸送を実施する
- ・ 商品発送状況を荷主、発送先等に共有するシステムを構築し、円滑な貨客混載実証輸送を支援する

### 【施策の狙い】

- ・ 地元事業者の販路拡大・収益獲得、地域産品の輸送コスト削減につなげる
- ・ 鉄道事業者の収益機会の拡大につなげる
- ・ 地域産品の魅力発信を通じた、地域のファン層拡大・関係人口の増加につなげる
- ・ 成功体験を通じた、地域全体で取組む意識醸成、ビジネス意欲の喚起につなげる

### 【実施予定時期】

- ・ 2026年1月 …… 荷主による駅持ち込み、オペレーション確認、模擬輸送試験の実施、検証（関係者立会）
- ・ 2026年2月 …… 模擬輸送試験の検証結果を踏まえ、本実証輸送開始

## 貨客混載イメージ

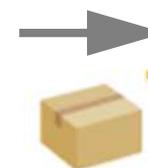
～輸送イメージ図～



生産者



指宿枕崎線内の駅



店舗

# 「指宿枕崎線（指宿・枕崎間）の将来のあり方に関する検討会議」における実証事業の概要

## 2 サイクルトレイン実証事業

### 【施策の概要】

- 指宿～枕崎間で、自転車ツーリズム等に利用できるサイクルトレイン（臨時列車）を運行する
- 指宿枕崎線の列車への自転車が持ち込めるように、自転車の受入環境を整備する
- 国内外からサイクリストを呼び込めるモデルコースを設定し、事前に申し込みされたモニターの方のみを対象としたツアーを実施する

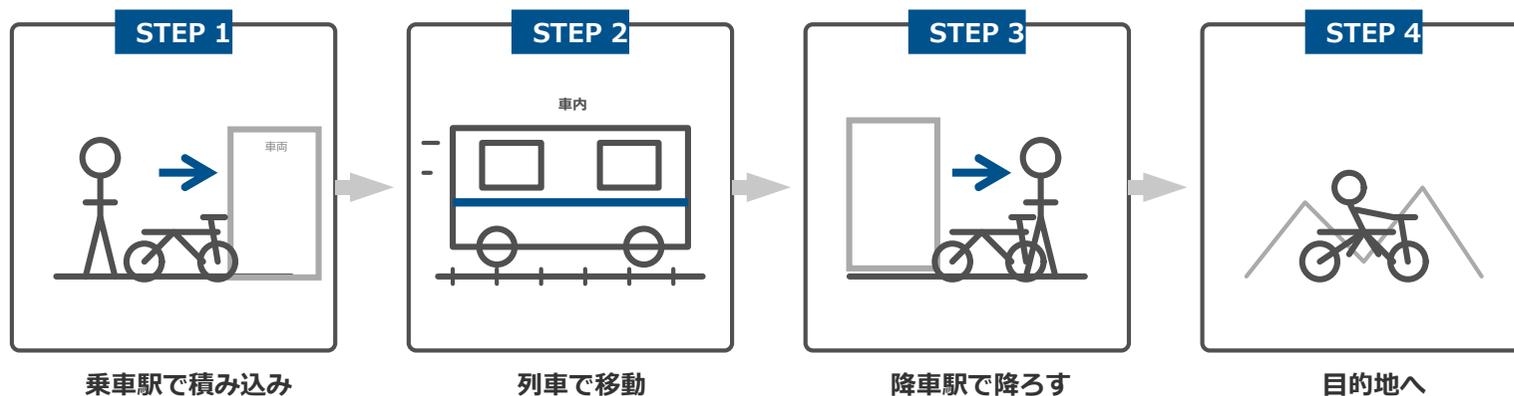
### 【施策の狙い】

- 自転車ツーリズムの需要喚起につなげる
- 海岸沿いの観光地を含む広域周遊観光に鉄道を組合せ、相乗効果をねらう
- 既存交通モード以外の新たな移動の選択肢の提供による、住みやすいまちづくり、学生の地域内鉄道利用の定着、生産年齢人口の機会損失の軽減及び観光客の利便性向上を図り、関係人口を創出する

### 【実施予定日】

- 2026年1月31日（土）、2月1日（日）

### サイクルトレインご利用イメージ



# 「指宿枕崎線（指宿・枕崎間）の将来のあり方に関する検討会議」における実証事業の概要

## 3 SNS等による地域の情報発信

### 【施策の概要】

- 指宿枕崎線（指宿・枕崎間）の沿線地域にある観光施設や店舗等について、Googleビジネスプロフィールへの新規登録や情報更新を推進する
- 日本最南端のJR路線というキラコンテンツを活かした旅行・鉄道系Youtuberとのコラボ企画等を実施する

### 【施策の狙い】

- 地図アプリへの地域資源の登録により、不特定多数の人に対して地域資源をアピールすることで、「ここも立ち寄る」といったポイントの増加を目指す
- 日本最南端のJR路線というSNS映えるコンテンツを武器にした売込みにより、影響力のあるインフルエンサーとのコラボ企画を実現し、従来にはない観光客層を開拓する
- 若者向けの広告強化により、従来とは異なる層の観光客を呼び込む

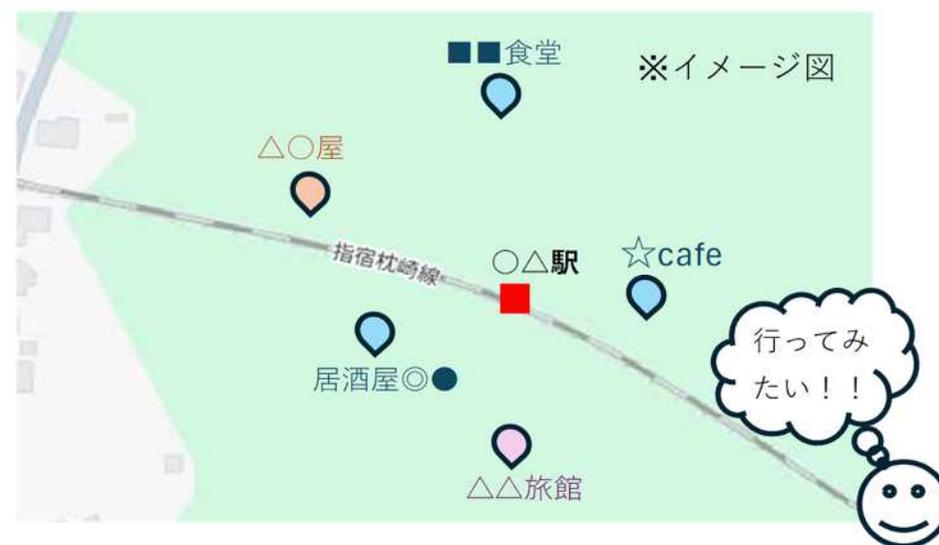
### 【実施予定時期】

- 準備が整い次第、順次実施

## Googleビジネスプロフィール登録推進イメージ



【現状】地域の飲食店や施設等の情報がマップ上に反映されていない



【目指す姿】地域の飲食店や施設等の情報がマップ上に反映されている

# 「指宿枕崎線（指宿・枕崎間）の将来のあり方に関する検討会議」における実証事業の概要

## 4 駅のにぎわいづくり事業（※JR九州のekinicoを活用）

### 【施策の概要】

- 西顛娃駅の駅舎等を活用したにぎわいづくり（シンボル駅づくり）を実施する
- 地域内外から人を集め、駅舎での地元物産品販売、イベント開催、待合室でのセレクトショップ開店等によって、にぎわいを創出する

### 【施策の狙い】

- 来訪者の周遊観光需要を喚起し、地域産品の需要増加につなげる
- 当事者意識の喚起や、地域ビジネスに関する意欲を高めてもらう場や機会の創出につなげる
- 駅舎や駅舎周辺スペースの一部を活用し、駅を中心とした地域活動を活発化させ、地域のにぎわいを創出する
- 「他の目的で結果的に駅に来た」人を取り込み、駅を様々な目的に対応した場所とすることで、関係人口の増加（ひいては鉄道利用増加）につなげる

### 【実施予定時期】

- 準備が整い次第、順次実施

～西顛娃駅現状～

